

農地・水路などの地域資源の基礎的な保全活動に向けて、農用地や農業用施設の状況確認を行います。この点検結果に基づいて、年間の活動計画を立てます。



Q 点検のポイントとは？

A 農用地・施設の点検は、毎年水田等の非かんがい期に行います。協定に位置づけた農用地・施設のすべてについて、以下のポイントにそって施設に問題がないかを点検しましょう。

農用地



- ✓ 遊休農地が発生していないか？



- ✓ 鳥獣害防護柵や防風ネットが壊れたり、草におおわれたりしていないか？

ため池



- ✓ 水中に土砂が堆積していないか？



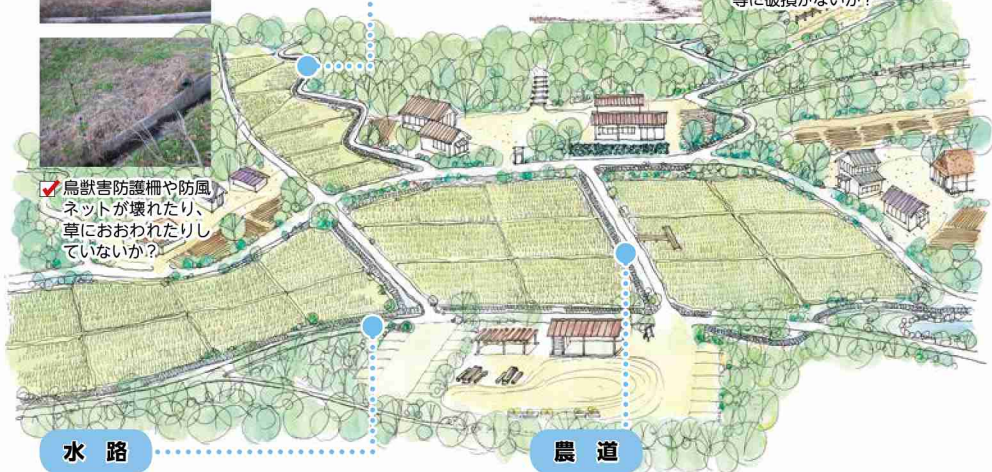
- ✓ 堤体に雑草が茂っていないか？

- ✓ ゴミが投棄されていないか？



- ✓ 取水施設のコンクリート構造物の基礎部分に空洞はないか？

- ✓ 斜樋や取水塔のゲート等に破損はないか？



水路



<開水路>

- ✓ 土砂の堆積や漏水により通水に支障はないか？
- ✓ ゲートやポンプ等の水利施設は正常に作用するか？



<パイプライン・ポンプ吸水槽>

- ✓ ポンプ吸水槽への泥やゴミの堆積はないか？
- ✓ 制水弁や給水栓等に異常はないか？
- ✓ 通水に問題はないか？

農道



- ✓ 路面の凸凹により交通に支障はないか？



- ✓ 側溝に泥などが堆積していないか？
- ✓ ゴミが投棄されていないか？
- ✓ 路肩・法面に雑草が繁茂していないか？

※市町が指定する様式がある場合は、そちらの様式を使用してください

点検チェックリストのつけ方

(参考様式)

点検チェックリスト (農地維持活動)

活動組織名: ○○地区保全会

(確認担当者: 山口 太郎)

区分	点検のポイント	確認日	確認結果		
			問題ない○ 問題ある× 経過観察△	対応の必要がある場所	
農用地	遊休農地	耕作が放棄された農地はないか。	4/3	×	○○○1ヶ所(A)
	鳥獣害防護柵	壊れた部分や下草により通電できない部分はないか。	4/3	○	
	防風ネット	壊れた部分や下が草で覆われているところはないか。	4/3	○	
水路	開水路	土砂が堆積しているところがないか。	4/3	×	○○○～○○○間2ヶ所(B, C)
		漏水している箇所はないか。	4/3	○	
	ゲートやポンプ等の水利施設に異常はないか。	4/3	○		
	パイプライン ポンプ吸水槽	ポンプ吸水槽への泥やゴミの堆積はないか。	4/3	○	
		制水弁や給水栓の異常はないか。	4/3	○	
		通水に問題はないか。	4/3	○	
農道	路面	凸凹のあるところがないか。	4/3	×	○○○～○○○間2ヶ所(D, E)
	側溝	泥や落ち葉などが堆積しているところがないか。	4/3	×	○○○～○○○間1ヶ所(F) ○○○～○○○間2ヶ所(G, H)
		ゴミが投棄されているところがないか。	4/3	○	
	路肩・法面	雑草が繁茂しているところがないか。	4/3	×	○○○～○○○間(I)
水中・水面	土砂が堆積していないか。	/	—		

点検日と点検場所(水路の幹線名や区間など)を記入します

問題の症状が「ない」場合は○、「ある」場合は×を記入します。症状があっても、すぐに対応の必要がない場合は「経過観察」(△)とします

問題のあった場所をこの欄に記入して通しの番号(A、B、C…など)をふり、その番号を問題箇所の位置図に記載します

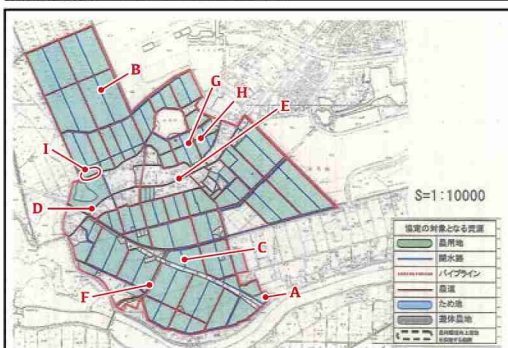
対象施設がない場合は「—」と記入します

問題箇所が見つかったら

問題箇所の位置を記入すると、わかりやすく整理できます。

問題箇所の位置図・写真(例)

確認場所・施設名: ○○地区 協定区域(全体)



農用地で安心して営農するために、畦畔や法面が保全されるとともに、鳥獣や風の被害を防ぐことが欠かせません。これらの状況をつかみ、適正に管理・補修を行いましょう。



Q 機能診断のポイントは？

A 農用地を保全する畦畔や法面、鳥獣害防護柵や防風ネットなどに問題症状がないか、以下の項目にそってチェックします。その破損・劣化状況の進行具合を毎年つかみながら、必要な管理・補修計画を立て、その保全・予防活動を適期にすすめていくことが大切です。

▲ 機能診断の実施にあたっての注意事項

- ・ 鳥獣害防護柵の機能診断にあたっては、電気柵の場合に感電等の危険があるため、ゴム手袋などを着用して安全に注意しましょう。
- ・ 勾配の急な法面、またグラウンドカバープランツの植栽やほ場整備を行って間もないところでは、植生が落ち着くまで、わずかな雨でも法面や畦畔が崩れる危険があるので、歩行に注意しましょう。

法 面



☑ 侵食や水みちはないか？

畦 畔



☑ 崩れたり、低くなったりしていないか？



☑ 漏水していないか？

鳥獣害防護柵・防風ネット



☑ 正常に機能しているか (機能異常はないか)？



☑ 破損はないか？

※市町が指定する様式がある場合は、そちらの様式を使用してください

機能診断チェックリストのつけ方

(参考様式)

機能診断チェックリスト(農用地)

No. _____

活動組織名: 〇〇地区保全会
(確認担当者: 山口 太郎)

確認日: 2016年 4月 1日

位置・名称: 〇〇地区内 全農地

確認日と農地のある区域を記入します

施設・箇所と問題状況		診断結果	備考(詳細)
		問題なし○ 問題あり× 経過観察△	
畦畔の状況	崩れ	×	〇〇地区内・×× 長さ50cmほどにわたり陥没あり
	低下	○	
	漏水	○	
	その他	○	
法面の状況	侵食	×	〇〇地区内・△△ 幅30cm四角ほどの侵食あり
	水みちあり	×	〇〇地区内・〇〇 幅20cm×長さ2mほどの水みちあり
	その他	○	
ゲート類	機能不全	○	
	破損	○	
	その他	○	

問題の症状が「ない」場合は○、「ある」場合は×を記入します。症状があっても、すぐに対応の必要がない場合は「経過観察」(△)とします

問題のあった場所をこの欄に記入して連しの番号(A、B、C…など)をふり、その番号を2頁のような問題箇所位置図に記載します

※問題箇所については、写真撮影および図面や位置図への具体的な場所の記入も行い、整理・保管してください。

用水路や排水路のネットワークは農業を支える最大の施設です。その通水がスムーズに行われるように、普段から点検を欠かさず、問題状況は早期に改善しましょう。



Q 機能診断のポイントは？

A 漏水や通水の障害となるような問題症状を、以下の項目にそってチェックしていきます。水路転落事故を防ぐ安全柵や蓋などのほか、ゲート類などの関連施設も忘れずにチェックしましょう。点検時期は、水田の非かんがい期で水路に水がないか少ない冬季から春先に行くと効果的です。



点検で問題のあった箇所は水路のなかに入って内側の状況も丁寧に確認してみましょう

コンクリート水路



全般・目地

不同沈下はないか？



目地の劣化やゆるみはないか？



側壁



側壁の破損やはらみはないか？



側壁背面の空洞はないか？
※打音診断で



藻類や雑草の繁茂はないか？

法面など



法面の侵食や漏水はないか？



安全柵・手すりの破損はないか？



蓋の破損や劣化はないか？

土水路

侵食や崩壊はないか？



ゲート類



金属のサビや腐食はないか？



ハンドルの操作異常はないか？



ゴムパッキンの劣化による漏水はないか？

※市町が指定する様式がある場合は、そちらの様式を使用してください

機能診断チェックリストのつけ方

(参考様式)

機能診断チェックリスト(開水路)

No. _____

活動組織名: 〇〇地区保全会
(確認担当者: 山口 太郎)

確認日: 2016年 4月 7日

名称・場所(位置): 〇〇地区内 ××幹線、△△幹線 ●-----

点検日と点検場所(水路の幹線名や区間など)を記入します

施設・箇所と問題状況	診断結果	備考(詳細)	
	問題ない○ 問題ある× 経過観察△		
コンクリート水路	不同沈下	○	
	目地(継ぎ目)の劣化・ゆるみ	×	1ヶ所(目地の開き)
	表面外観の劣化・ひび割れ	○ ●-----	
	側壁の破損・はらみ	○	
	側壁背面の空洞(侵食)	○	
	藻類の付着	×	2ヶ所(目地から雑草繁茂) ●-----
	法面の侵食・漏水	○	
	防護柵・手すりの破損・サビ	○	
	蓋の破損・劣化	○	
その他	×	1ヶ所(安全柵が破損)	
土水路	侵食・崩壊	—	
	その他	—	対象施設がない場合は「—」と記入します
ゲート類	金属部分のサビ・腐食	○	
	ハンドルの操作異常	○	
	ゴムパッキンの劣化等による漏水	○	
	その他	○	

問題の症状が「ない」場合は○、「ある」場合は×を記入します。症状があっても、すぐに対応の必要がない場合は「経過観察」(△)とします

問題のあった場所をこの欄に記入して通しの番号(A、B、C…など)をふり、その番号を2頁のような問題箇所的位置図に記載します

※問題箇所については、写真撮影および図面や位置図への具体的な場所の記入も行い、整理・保管してください。

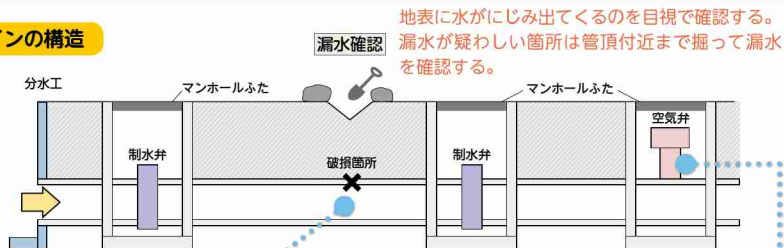
田畑に水を送るパイプラインは、水の流れを直接見ることはできず、地中に埋設される区間も長いので、通水能力が低下しないように、日頃から点検活動を行いましょう。



Q 機能診断のポイントは？

A パイプラインおよびそれと一体になったポンプ場やファームポンドなどの施設について、破損や劣化状況をつかみます。施設ごとに以下のポイントにしたがってチェックしましょう。

パイプラインの構造



パイプライン

- 管体の劣化や破損はないか？
- 継手の漏水や劣化はないか？

※漏水箇所の補修については土地改良区に相談する

バルブ類

- 可動の異常はないか？
- マンホール等の破損はないか？
- 金属部分にサビや腐食はないか？

給水栓ボックス



- 可動の異常はないか？
- 洗掘（基礎部のむき出し）や破損はないか？
- サビや腐食はないか？
- フロートの動作異常はないか？

ポンプ場



- 可動の異常はないか？
- 金属部分のサビや腐食はないか？
- 建屋の破損はないか？
- フロートの動作異常はないか？

機能診断にあたって配慮すべき事項

- 不具合が生じた場合、円滑に点検ができるように、土地改良区など専門家への連絡体制や維持保全のための体制をつくっておきましょう。
- 空気弁などはマンホールに入っているのので、草や泥などで場所がわからなくなるように、杭などを打って目印をつけておきましょう。

※市町が指定する様式がある場合は、そちらの様式を使用してください

機能診断チェックリストのつけ方

(参考様式)

機能診断チェックリスト(パイプライン)

No. _____

活動組織名: 〇〇地区保全会

(確認担当者: 山口 太郎)

確認日: 2016年 4月 7日

名称・場所(位置): 〇〇地区・〇〇幹線

点検日と点検場所(水路の幹線名や区間など)を記入します

施設・箇所と問題状況		診断結果	備考(詳細)	
		問題ない○ 問題ある× 経過観察△		
パイプライン	管体の劣化・破損	○	問題の症状が「ない」場合は○、「ある」場合は×を記入します。症状があっても、すぐに対応の必要がない場合は「経過観察」(△)とします	
	継手の漏水・劣化	○		
	その他	○		
バルブ類	可動の異常	—	対象施設がない場合は「—」と記入します	
	金属部分のサビ・腐食	—		
	マンホール等の破損	—		
	その他	—		
給水栓	可動の異常	○	問題のあった場所をこの欄に記入して通しの番号(A、B、C…など)をふり、その番号を2頁のような問題箇所の位置図に記載します	
	ボックス基礎部の洗掘・破損・腐食	×		〇〇地内・〇〇さんの水田の給水栓ボックス基礎部が洗掘されてむき出しに
	フロートの動作異常	○		
	その他	○		
ポンプ場	可動の異常	○	金属ゲートのサビとゴミ溜りが進行中	
	金属部分のサビ・腐食	△		
	建屋の破損	○		
	その他	○		

※問題箇所については、写真撮影および図面や位置図への具体的な場所の記入も行い、整理・保管してください。